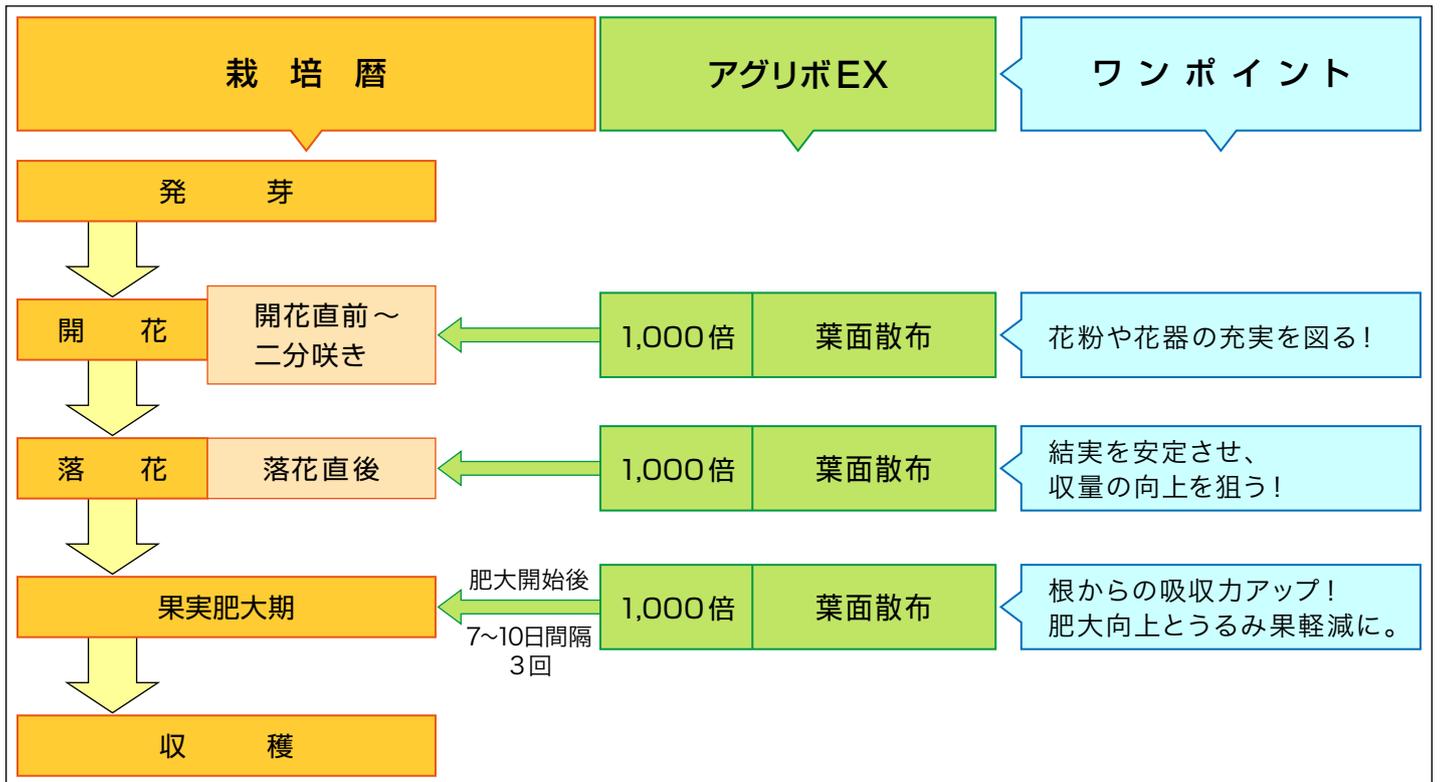


桜桃 (さくらんぼ)

果実肥大・うるみ果抑制は、根の充実から

果樹の果実肥大や着色促進は、天候はもちろん、土壌中の肥料や水分の吸収に大きく影響されます。つまり、果実肥大期に十分に根を張らせておくことが重要なのです。特に桜桃では日当たりが悪いと「うるみ果」が発生します。整枝とともに根をしっかりと張らせると、葉が立ち、その分日当たりも良くなります。



うるみ果軽減にもう一手、カルシウム剤「ヤワラ」

カルシウムの補給もうるみ果対策に効果が有るとの情報が入っています。「ヤワラ」は展着促進材を強化して、カルシウムの浸透移行力が高い製品です。「アグリボEX」との併用をお勧めします。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに「光触媒」入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、「展着促進材」(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ
ご相談 **0120-187-183** 相談室

AGREVO

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328